

さっぽろ行動援護ネットワーク 職場交換研修報告書



水尾 優介
草の実会居宅介護事業所スイッチ

受講日時：平成30年7月13日 10:00~18:00

受入事業所：NPO法人 ひなた

研修内容

支援手順書、支援計画書、スケジュールソフトを見せていただく。

教材作り作成、サービス同行

研修の感想

事前に研修予定内容をいただいております、当日の動きが事前にわかっていたので、当日は気持ちに少し余裕を持って、事業所に向かうことが出来た。

NPO法人ひなたは居宅介護事業所の他、ショートステイ、児童発達支援事業、放課後等デイ、生活介護を行っている法人である。

この法人は基本理念を大きく3つ掲げており、
・わたしたちは、事業所に関わる全ての人々(利用者の方、利用者のご家族、スタッフ)が自分らしく生き生きと過ごすことが出来る場を提供することを目指します。

・利用者の方には、自身の持っている能力を最大限に伸ばし、本人の望む生活を送ることが叶うよう、全力でサポートしていくことをお約束します。

・働くスタッフに対しては、仕事を通じて介護のプロとなれるよう、学びの場を提供することをお約束します。

とあるが、この研修の要所要所でこの3つが感じられた。

さらにこの事業所では驚くことが数多く見ることができた。

まずはじめに玄関に入って目に入ってくるのが、大きなランポリンとボルタリングである。

私は児童発達支援事業や放課後等デイを利用される方が、使用するものかと思っただが、ショートステイを利用される方が余暇の活動として使用するものとのこと。

その他にも利用者される方の為に工夫がされており、洗面台の鏡や水道の水にこだわりのある方、消火器や非常ボタンにこだわりのある方がこだわりを少しでも少なくし生活できるように、洗面台、消火器、非常ベルは引き戸や、手作りの板で見えないように工夫されていた。

事務所の中は居宅(ショートステイ兼務)と児童発達支援と放課後等デイの職員が一つの部屋になっており、職員は30名近くいるとのことだが、元プロアイスホッケー選手や理容師の資格を持った方、パティシエとして働いていたことのある方等、個性の強い方が多いとのことでした。長い時間働くことが出来ない方(主婦の方等)も短時間職員として正職で雇用しているとのこと。サービスに行く前とサービス後は基本的には事務所に寄ることになっているため、管理者の方や他職員と会話での情報共有が図ることができていた。

数年に1度は法人の負担で、スタッフ、スタッフの家族(一部法人負担)全員で、沖縄旅行に行っているというのも納得が出来るくらいの職員間の仲の良さにも驚いた。

パソコンで情報がシステム化されている為、シフト、その日の職員の動き、利用者さんの最近の様子など、欲しい情報が欲しい時に見ることが出来るのは素晴らしいと感じた。

職員間での役割分担や協力にとっても刺激を受けたとともに、今後所属している事業所でも活かしていきたいと思いました。